|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 元請確認欄 |  |  |

**危険性又は有害性の特定標準モデル**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作 業 名 | 粉じん作業 | 使用設備・機械 | ・モルタルミキサー・モルタルポンプ・エアーコンプレッサー・ガン等（吹付け作業）  ・研削といし・ディスクサンダー・ジャイアントブレーカー・エアーコンプレッサー（研磨及び解体） |
| 施工会社名 |  | 使用工具・機器 | ・ブレーカー・ピック（はつり） |
| 工　法　等 |  | 安全設備・保護具 | ・全体換気装置・湿潤な状態を保つための設備（散水装置・ハイワッシャー等）  ・呼吸用保護具（送気マスク・空気呼吸器等）・防じんマスク・保護メガネ・耳栓 |
| 工　事　名 |  | 使用資材 | ・吹付け材（セメント・耐火材等） |
| 作業期間 | 令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日 | 作業に必要な資格と  配置予定者 | ・特定粉じん作業特別教育受講修了者：  （※特定粉じん作業の場合） |
| 担当職長名 |  |
| 作成年月日 | 令和　　年　　月　　日作成 | 施工会社・関係者  周知記録（サイン） | 令和　　年　　月　　日 |
| 改訂年月日 | 令和　　年　　月　　日改訂 |
| 作成責任者 |  | 打合せ事項  確認事項等 | ・作業計画書（図面）　・作業手順書　・じん肺健康診断の受診確認 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 予想される災害 | 危険性又は有害性の特定 | 危険の見積り | | | | リスク低減措置 | 危険性又は  有害性に  接する人 | 安全対策の評価 | | | | 備　　　考 |
| 可能性 | 重篤度 | リスク | 優先度 | 実効性 | 効　果 | 評　価 | 危険度 |
| 粉じん障害 | ・粉じんへのばく露によりじん肺に罹患する  ・作業所の周辺は、常に清掃し、粉じんの発生を防ぐ  　・作業方法、設備等の改善をする  　・散水の実施  　・換気等の実施  　　・集じん機の設置  　　・プロペラファン（電動排風機）による局所  　　　排気の実施    ・ずい道工事等の粉じんの発生する作業では粉じん濃度を測定する |  |  |  |  | ・屋内では全体換気装置による換気 | 職　長 |  |  |  |  | 適正配置  ・作業手順の確認  ・決定事項の周知  ・じん肺健康診断の結果確認    ・現地で行う    予想される危険　→　対策 |
| ・臨時の特定粉じん作業では有効な呼吸用保護具を使用する（時間、期間が短い場合も同様） | 作業者 |
| ・粉じん作業が行なわれている間粉じんの発生源を湿潤な状態に保つ | 職　長 |
| ・粉じん作業の行なわれている作業場以外の場所に休憩設備を設ける | 職　長 |
| ・休憩所には作業衣等に付着した粉じんを除去できる用具を備える | 事業者 |
| ・休憩設備を利用する前に作業衣等に付着した紛じんを除去する | 作業者 |
| ・作業場所を湿潤して作業を行う | 作業者 |
| ・毎日１回以上粉じん作業を行なう | 作業者 |
| ・屋内の作業場所の清掃を行なう | 作業者 |
| 視力障害 | ・粉じんが目に入り眼球を損傷する |  |  |  |  | ・防じんめがねを着用する | 作業者 |  |  |  |  |
| 作業に必要な情報・実施事項 | １、安衛法・安衛則・通達等  　・粉じん障害防止規則  　・じん肺法  　・第６次粉じん防止総合対策 | | | | | | | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 危険有害要因の評価基準 | 危険度 |
| ６ | 抜本的な対応が必要 | ５ |
| ５ | 即座に対策が必要 | ４ |
| ４ | 何らかの対策が必要 | ３ |
| ３ | 現時点で対策の必要なし | ２ |
| ２ | 極めて小さい（受け入れ可能） | １ |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 安全対策の評価 | 効　果  実現性 | | 大 | 中 | 小 |
|
| ３ | ２ | １ |
| 困　難 | ３ | ６ | ５ | ４ |
| 努力すれば可能 | ２ | ５ | ４ | ３ |
| 可　能 | １ | ４ | ３ | ２ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 危険有害要因の評価基準 | 危険度 |
| ６ | 極めて大きい（受け入れ不可能） | ５ |
| ５ | かなり大きい（受け入れ不可能） | ４ |
| ４ | 中程度（受け入れ可能） | ３ |
| ３ | 小さい(許容範囲内) | ２ |
| ２ | 極めて小さい（受け入れ可能） | １ |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 危険の見積り | 重大性  可能性 | | 極めて重大  (死亡・障害) | 重　大  大けが  (休業４日以上) | 軽微  打撲・切傷  (休業３日以下) |
|
| ３ | ２ | １ |
| 発生の確率は高い  （半年に１回程度） | ３ | ６ | ５ | ４ |
| 時々発生する  （２～３年に１回程度） | ２ | ５ | ４ | ３ |
| 発生の確率は低い  （５年以上に１回程度） | １ | ４ | ３ | ２ |